

2016年3月期 第1四半期決算概要

NS 日進工具株式会社

～超硬小径エンドミルのトップランナー～

2015年7月31日
(証券コード6157)

目次

1. 2016年3月期1Qの業績	P. 2 … 第1四半期決算の概要
	P. 3 … 営業利益の増減要因
	P. 4 … 損益計算書サマリー
	P. 5 … 貸借対照表サマリー
	P. 6 … 四半期業績推移
<hr/>	
2. 2016年3月期の業績予想見通し	P.12 … 業績予想見通し
	P.13 … 第1四半期における進捗状況
	P.14 … 2016年3月期の重点戦略
	P.15 … 配当予想
<hr/>	
<参考資料>	P.16 … 過去5年間の業績と主要データ推移
	P.17 … 株価推移とバリュエーション
	P.18 … IR情報サイトのご案内

第1四半期決算の概要

売上高・経常利益ともに 四半期最高を更新

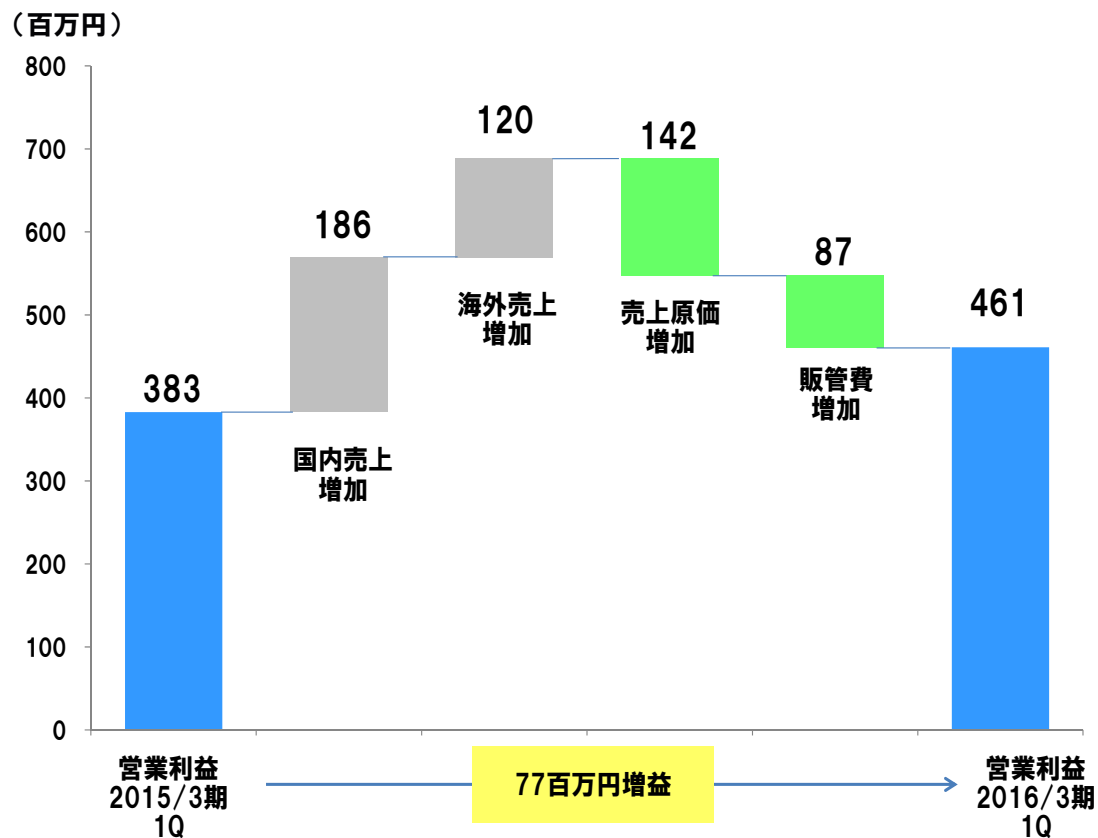
(百万円)

	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	上期予想	進捗率
売上高	1,735 (+12.9%)	2,043 (+17.7%)	3,950 (+11.3%)	51.7%
営業利益	383 (+67.6%)	461 (+20.2%)	770 (+7.5%)	59.9%
経常利益	405 (+64.1%)	490 (+21.0%)	800 (+6.4%)	61.3%
四半期純利益	255 (+80.1%)	315 (+23.5%)	520 (+7.7%)	60.7%

※()内は前年同期比増減率

- 中国での景気減速やスマートフォン市場の失速等、マイナス要因はあったものの、米国向けが好調な自動車関係、車載システムやIoT関連向けが伸びている電子部品関係に牽引され、小径工具需要は堅調に推移した
- 連結売上高は前年同期比17.7%増の2,043百万円。四半期ベースの過去最高を更新。また、半期予算に対する進捗率は、51.7%と順調なスタートとなった
- 連結経常利益は前年同期比21.0%増の490百万円。売上高同様過去最高を更新。半期予算に対する進捗率は61.3%と順調
- 来年3月の完成を目指し、仙台工場敷地内で新工場棟建設に着手

営業利益の増減要因



- 国内売上高は前年同期比186百万円、13.4%アップ、一方海外は同120百万円、34.9%と大幅アップとなった。なお売上高全体では307百万円、17.7%の増加
- 307百万円の売上高増加に対して、売上原価の増加は142百万円、売上増に対して46.4%。同様に販管費は87百万円増えて同比率は28.4%であった
- 営業利益は77百万円、20.2%の増加、売上高営業利益率は0.5ポイント上昇し22.6%

損益計算書サマリー

(百万円)

	2015/3期1Q	2016/3期1Q	前期比	コメント
売上高	1,735	2,043	+17.7%	自動車部品や電子部品向けに牽引され、小径エンドミル需要は堅調に推移。四半期での過去最高を更新。
売上総利益(率)	885 (51.0%)	1,050 (51.4%)	+18.6%	増収と増産効果により18.6%増加、売上総利益率は0.4ポイントアップし51.4%。
販管費(率)	501 (28.9%)	589 (28.8%)	+17.5%	賞与引当額の増加等から人件費が前年同期比20.7%増加したほか、売上増に伴い販売促進費等が増加。
営業利益(率)	383 (22.1%)	461 (22.6%)	+20.2%	増収と売上総利益率の改善により、営業利益は前年同期比20.2%増加、営業利益率は22.6%
経常利益(率)	405 (23.3%)	490 (24.0%)	+21.0%	営業外収益が若干加わり経常利益は同21.0%増の490百万円、経常利益率は24.0%
当期純利益(率)	255 (14.7%)	315 (15.4%)	+23.5%	法人税等も同16.7%の増加となったが、四半期純利益は同23.5%増の315百万円
設備投資額	100	249	+148.5%	生産・開発設備の導入、子会社での倉庫建設等に加え、前期からの持越し分もあり多めとなった
減価償却費	112	109	-2.5%	前期で償却が終わった資産も多く若干減少。計画では第2四半期以降増加傾向
従業員数	285人	281人	-1.4%	生産量が増える中でも従業員数は横ばい

※()は売上高に対する比率

貸借対照表サマリー

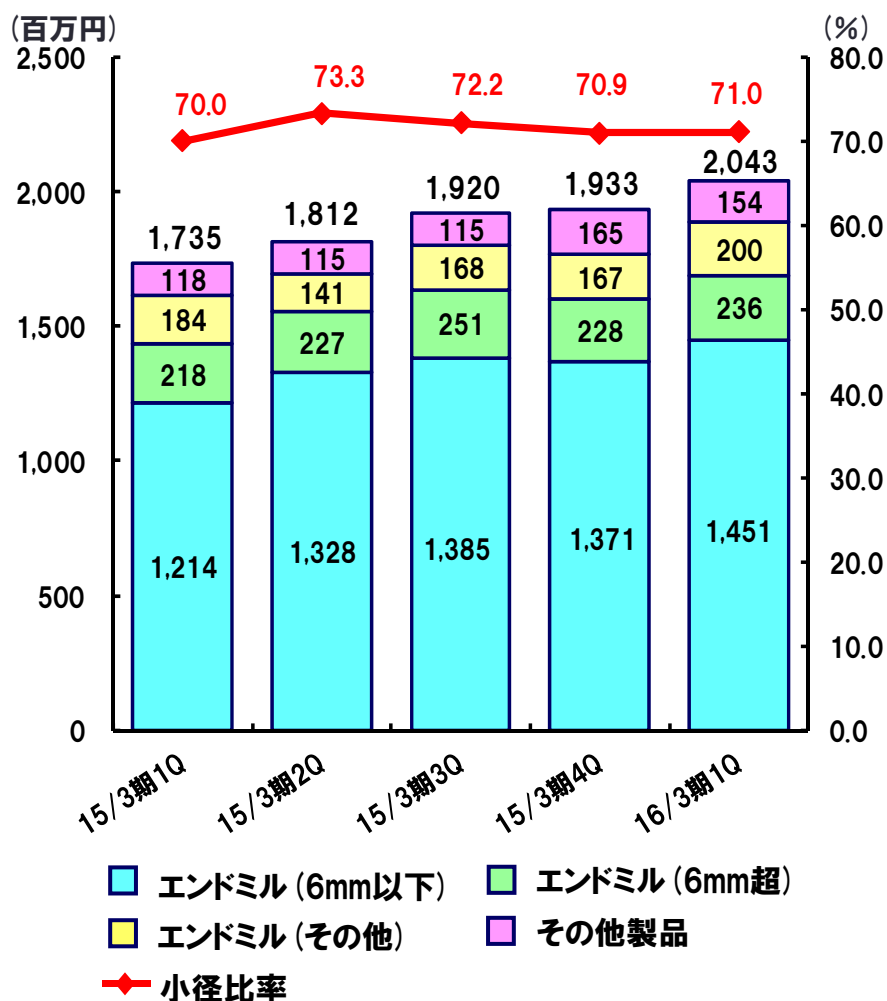
(百万円)

	15年3月期	構成比	16年3月期 1Q	構成比	前期比
(資産の部)					
I 流動資産	6,711	64.9%	6,298	63.3%	-6.2%
現金及び預金	3,716	35.9%	3,282	33.0%	-11.7%
受取手形及び売掛金	1,264	12.2%	1,288	12.9%	+1.9%
棚卸資産	1,509	14.6%	1,502	15.1%	-0.5%
II 固定資産	3,628	35.1%	3,657	36.7%	+0.8%
有形固定資産	3,172	30.7%	3,199	32.1%	+0.8%
無形固定資産	143	1.4%	141	1.4%	-1.2%
投資その他の資産	312	3.0%	317	3.2%	+1.4%
資産合計	10,339	100.0%	9,955	100.0%	-3.7%
(負債の部)					
I 流動負債	1,439	13.9%	974	9.8%	-32.3%
買掛金	277	2.7%	270	2.7%	-2.5%
II 固定負債	419	4.1%	432	4.3%	+3.2%
負債合計	1,858	18.0%	1,407	14.1%	-24.3%
(純資産の部)					
純資産合計	8,480	82.0%	8,548	85.9%	+0.8%
負債・純資産合計	10,339	100.0%	9,955	100.0%	-3.7%

- 流動資産は、法人税等の支払いにより現預金が減少した一方、売上好調から売上債権が若干増加した
- 法人税等や賞与の支払いにより、未払法人税等、賞与引当金が減少したこと等から、流動負債は大きく減少
- 純資産は0.8%増加したが、負債の減少が大きく、負債・純資産合計は3.7%の減少。前期末の100億円台を下回った

売上高の推移① 製品別

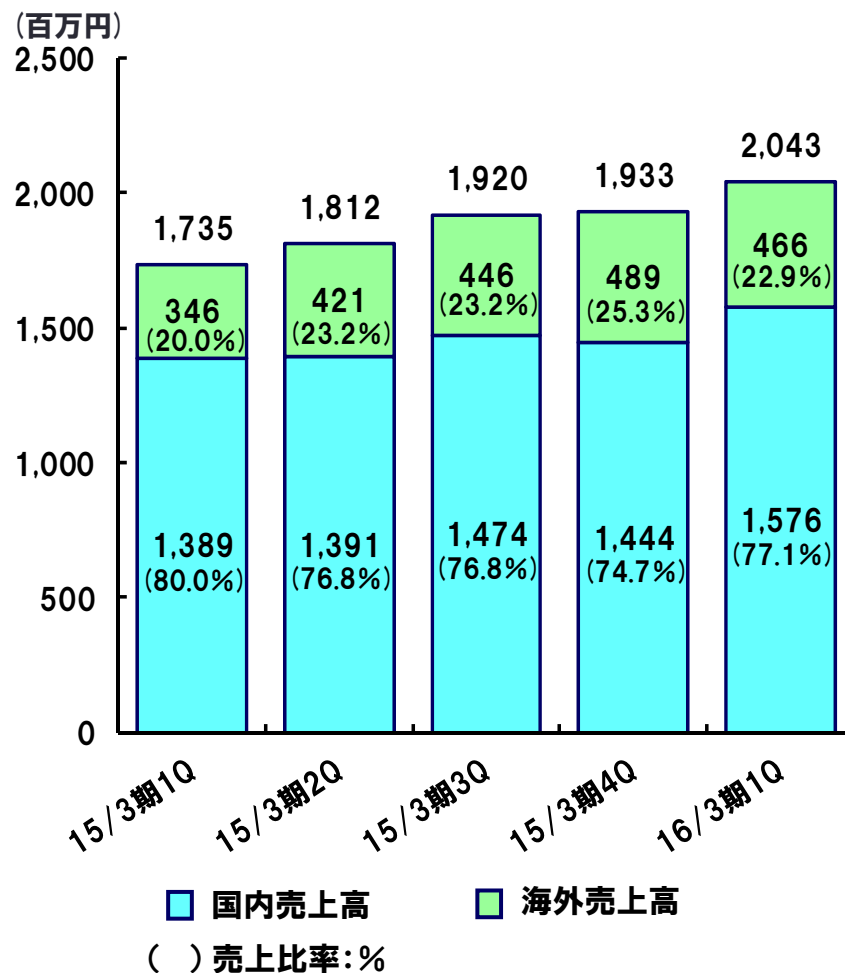
製品別売上高と小径比率の推移



- マクロ環境やスマートフォン等の新しい製品の拡大等もあり、9四半期連続での売上増加
- 前年同期に比べ、自動車向けの金型がやや低調との声もあったものの、生産を大きく増やしたメーカーもあった他、衝突防止・自動停止等といった安全対策技術のニーズが高まり、関連する車載向け電子部品等が堅調となった
- 製品別では、「その他」以外は安定して増加傾向が継続、小径比率も大きな変化はみられなかった
- 前年同期との比較では、小径比率が1.0%上昇したこともあり平均販売単価は3.7%低下

売上高の推移② 国内・海外

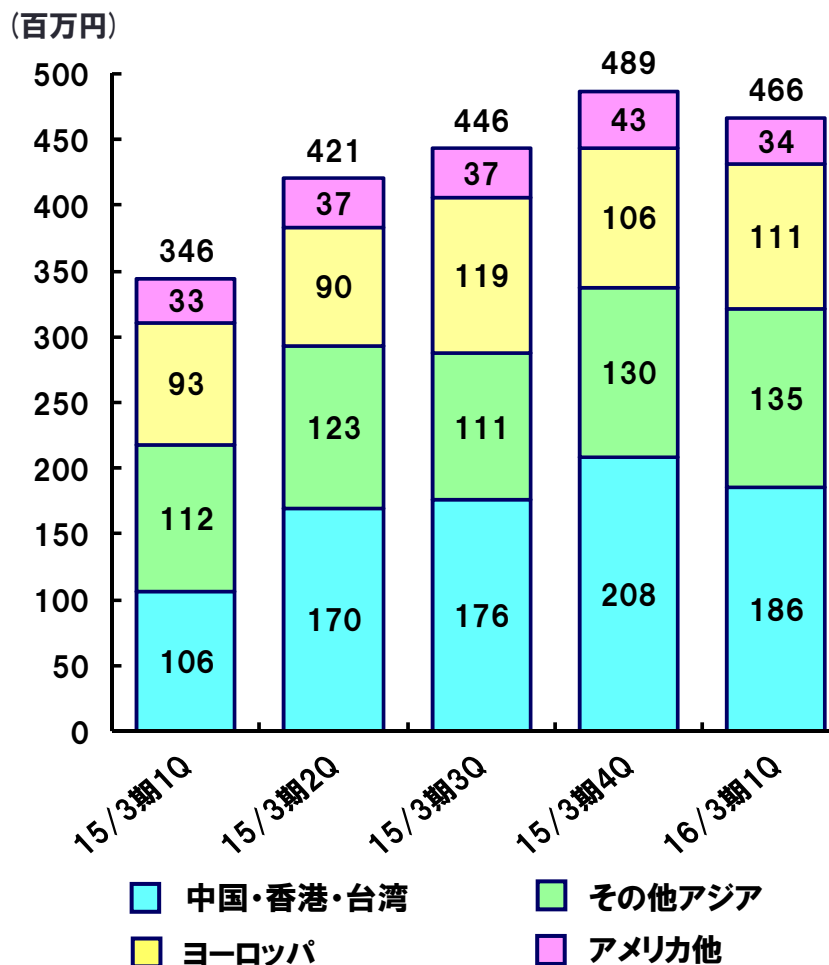
国内・海外売上高の推移



- 海外売上高は中国向けの増加を主因に、この最近は前四半期比増加していたが、当四半期では前四半期比▲4.7%と減少。中国での景気減速やスマートフォンの伸び悩みの影響が大きかったとみられる
- 一方国内は順調に推移し、四半期ベースでの過去最高更新に貢献した
- これらにより、海外売上比率は前四半期の25.3%から22.9%へ2.4ポイント低下。それでも前年同期の20.0%は上回った
- 自動車の生産数量自体はメーカーによりまちまちであったが、LED化されたライト周りや自動安全装備向けのセンサー、電子部品等が伸び、小径エンドミルの需要に繋がった

売上高の推移③ 海外地域別

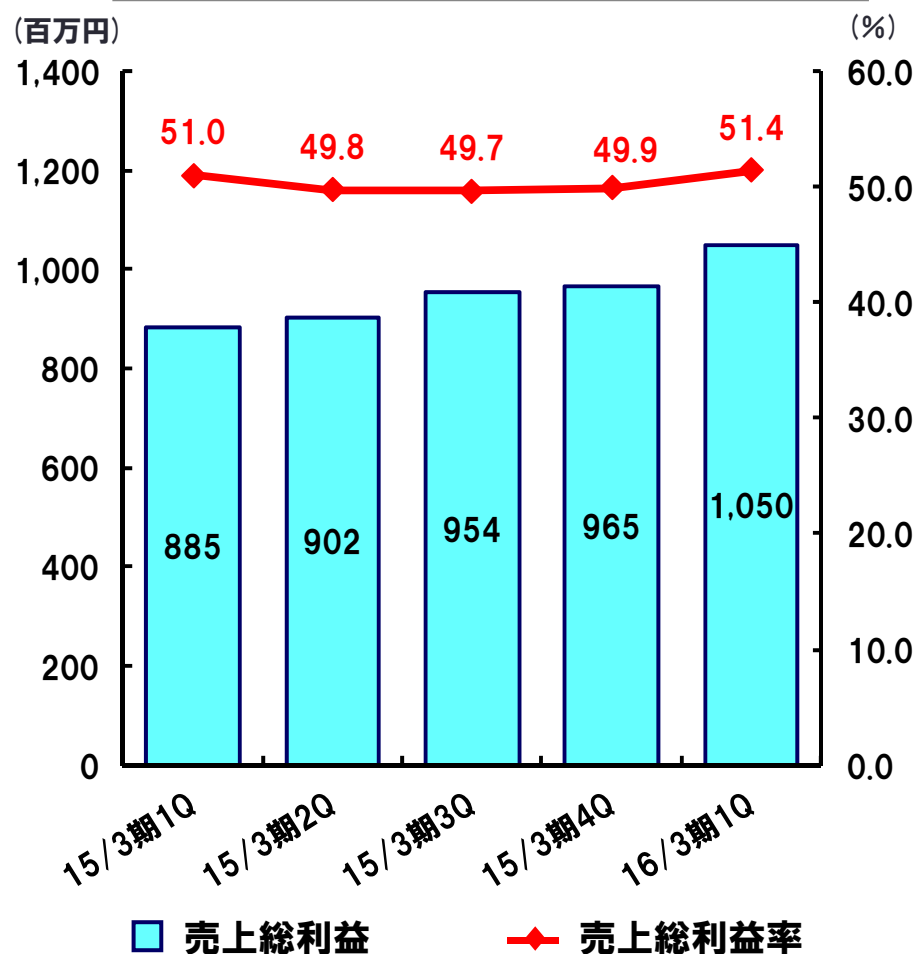
海外地域別売上高



- 海外では各地域とも順調に伸びてきたが、当四半期は中国を中心にやや伸び悩んだ
- 中国・香港・台湾ではやはりスマートフォン減速の影響があったとみられる。今後は買い換え需要を喚起できる新製品が出てくるか否かで、大きく影響を受ける可能性も
- ヨーロッパ、その他アジア（=中国・香港・台湾を除く）地区では大きな動きはなかったが、まずまずの水準をキープ
- 今後、その他アジア及び米国での販売拡大を図っていく方針

売上総利益の推移

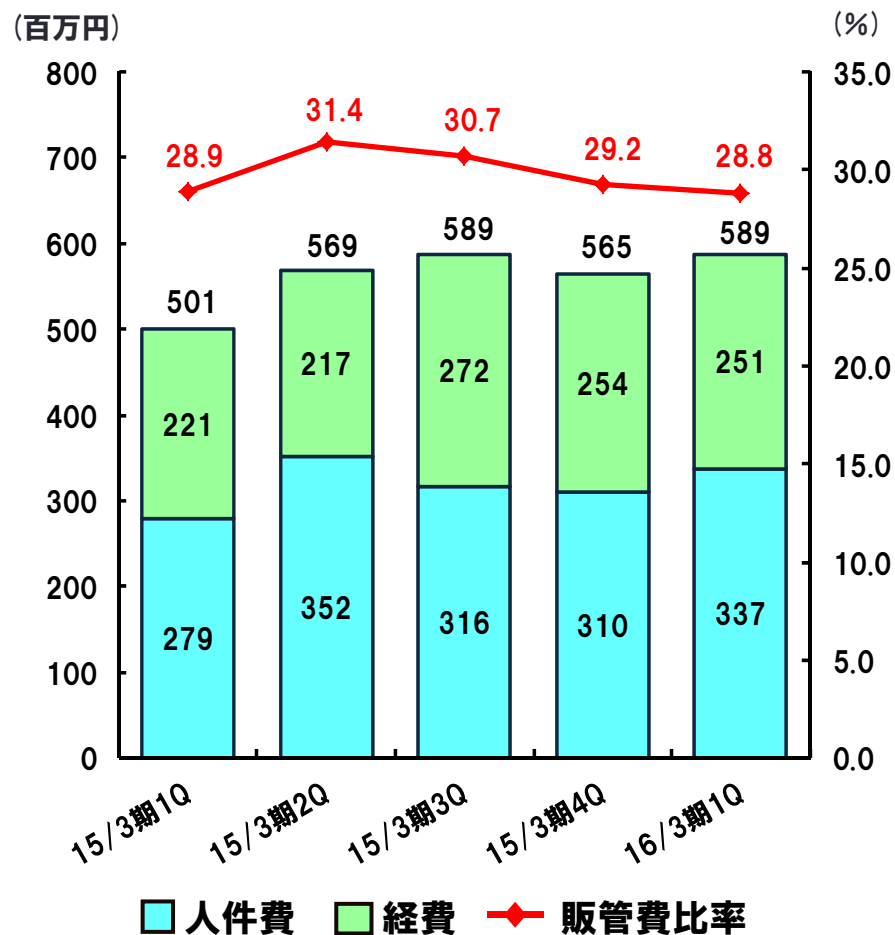
売上総利益と売上総利益率の推移



- 前年同期に比べ生産数量が増加したことから、変動費である原材料費と外注加工費が増加
- 自動化推進の効果もあり、労務費が前年同期並みに止まったほか、修繕費、減価償却費がわずかながら減少
- 売上原価は16.8%の増加となったが、棚卸資産が若干増加したこともあり、売上高の増加分を若干下回る水準となった
- これにより売上総利益は前年同期比18.6%増の1,050百万円。売上総利益率も0.4ポイント上昇して51.4%

販管費の推移

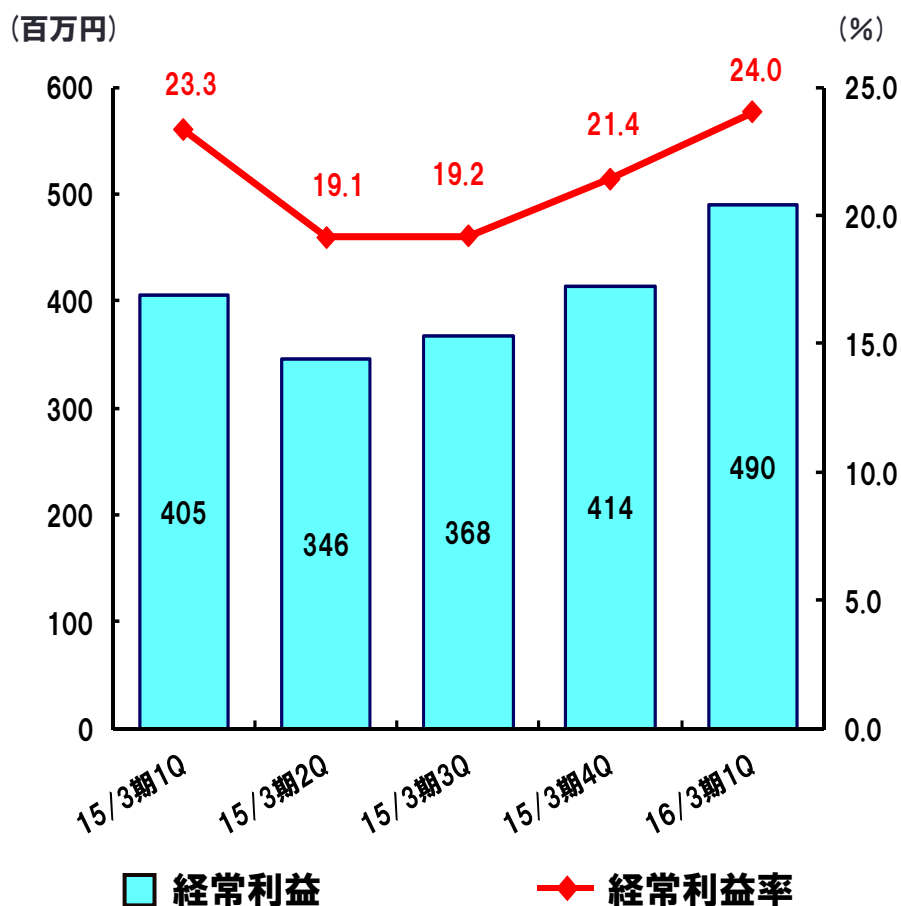
販管費と販管費比率の推移



- 販売管理費では、技術部門の一部が生産部から開発部に移った影響（製造原価から販管費へ）や業績好調により賞与引当金が増加したこと等から、人件費が前年同期比20.7%増加し337百万円
- また一般経費でも、売上増に伴い販売促進費が増加したほか、会計システムの更新、営業技術や開発部での測定器や機械の導入等により減価償却費が増加し、販管費全体では同17.5%増加の589百万円
- それでも売上高の増加を下回り、売上高販管費比率は28.8%と目標の30%を下回った

経常利益の推移

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 好調な市場環境から売上高が順調に伸びるなか、高付加価値製品の拡販や自動化の推進によるコスト抑制等を継続した結果、経常利益は490百万円と前年同期を21.0%上回り、四半期での過去最高を更新
- 工場立ち上げや新規金型投資により、利益面でやや厳しかった成形品子会社も、安定して利益が出るようになりつつある。
- 連結での売上高経常利益率は24.0%に上昇
(毎年度1Qは高めとなることが多い)

業績予想見通し

(百万円)

	2015/3 実績	2016/3 予想	前期比	コメント
売上高	7,402	8,200	+10.8%	自動車関係や電子部品関係の好調から 拡大傾向が続くと判断
営業利益	1,481	1,630	+10.1%	増収に伴い増益
経常利益	1,534	1,660	+8.2%	営業外収益の減少を見込み、 営業利益に比べ増加率はやや低め
当期純利益	973	1,100	+13.0%	15/3期に比べ税率がやや低下すると予想
設備投資額	612	1,412	+130.8%	通常の自動化投資に加え、工場増設や 販売システムの更新費用により増加
減価償却費	474	568	+19.8%	新工場の竣工は期末近くのため、 期中の減価償却費への影響は軽微
EPS	155.69円	175.95円	+13.0%	当期純利益に同じ
1株当り配当金	40円	45円	+12.5%	増益に伴い増配

第1四半期における進捗状況

(百万円)

	当1Q 実績	半期 予想	進捗率	通期 予想	進捗率
売上高	2,043 (+17.7%)	3,950 (+11.3%)	51.7%	8,200 (+10.8%)	24.9%
営業利益	461 (+20.2%)	770 (+7.5%)	59.9%	1,630 (+10.1%)	28.3%
経常利益	490 (+21.0%)	800 (+6.4%)	61.3%	1,660 (+8.2%)	29.5%
当期純利益	316 (+23.5%)	520 (+7.7%)	60.7%	1,100 (+13.0%)	28.7%

※()内は前年同期比増減率

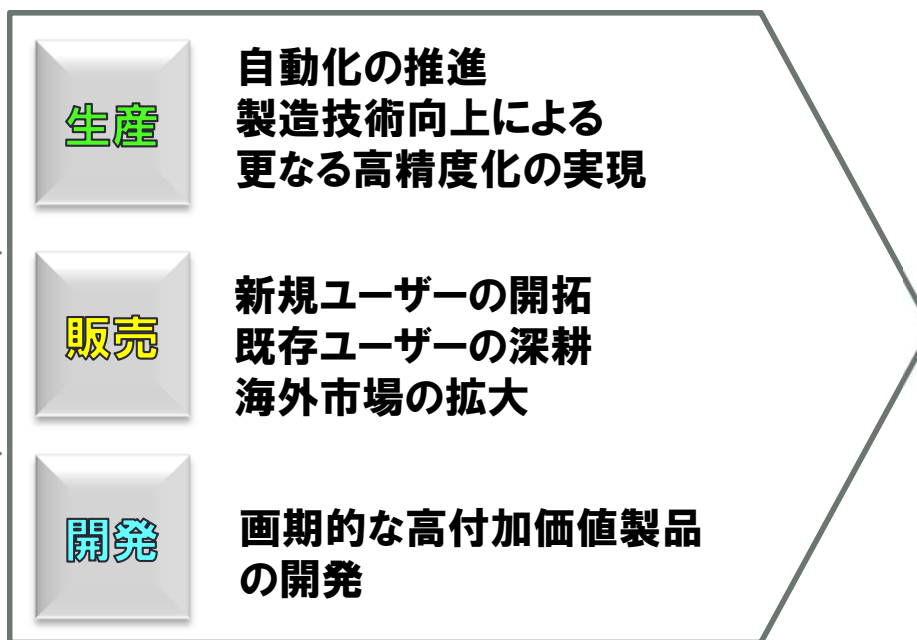
2016年3月期の重点戦略



**連結売上高82億円の達成と
経常利益率20%の確保**

人材:精密・微細加工に
特化した専門家集団

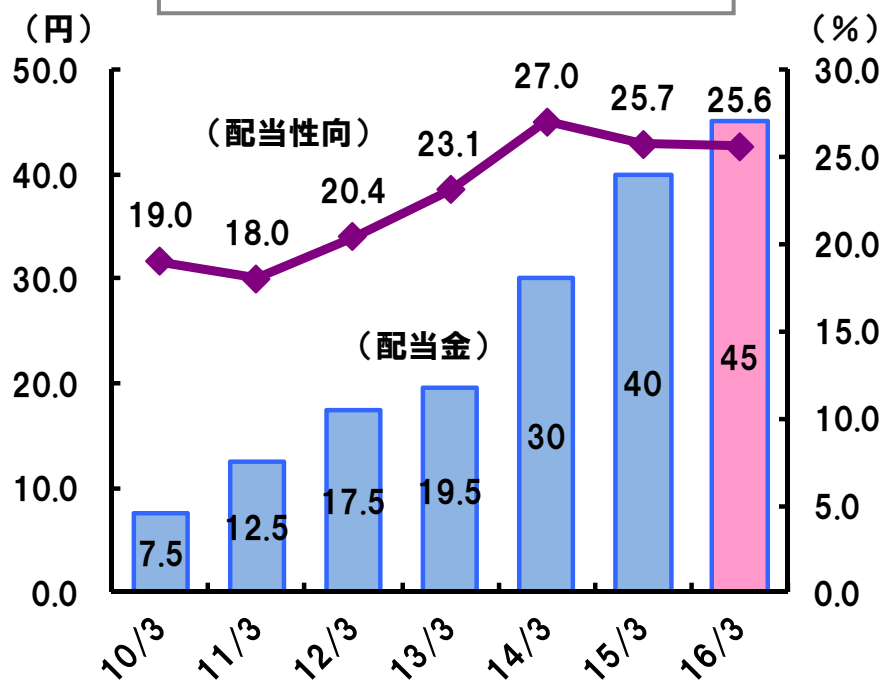
品質:精度と安定性への
飽くなき取り組み



持続的成長の実現

配当予想（株主還元について）

配当金と配当性向の推移



業績に応じた利益還元
(配当性向20%を目処)

- 2015年3月期の配当金は10円増配となる1株当たり40円
- 2016年3月期は増益を見込むため1株当たり45円を予定
(業績予想に対する配当性向は25.6%)

※ 2014年10月1日付実施の株式分割の影響を考慮しています

自社株買いではなく配当にウェートを置く方針

過去5年間の業績と主要データ推移

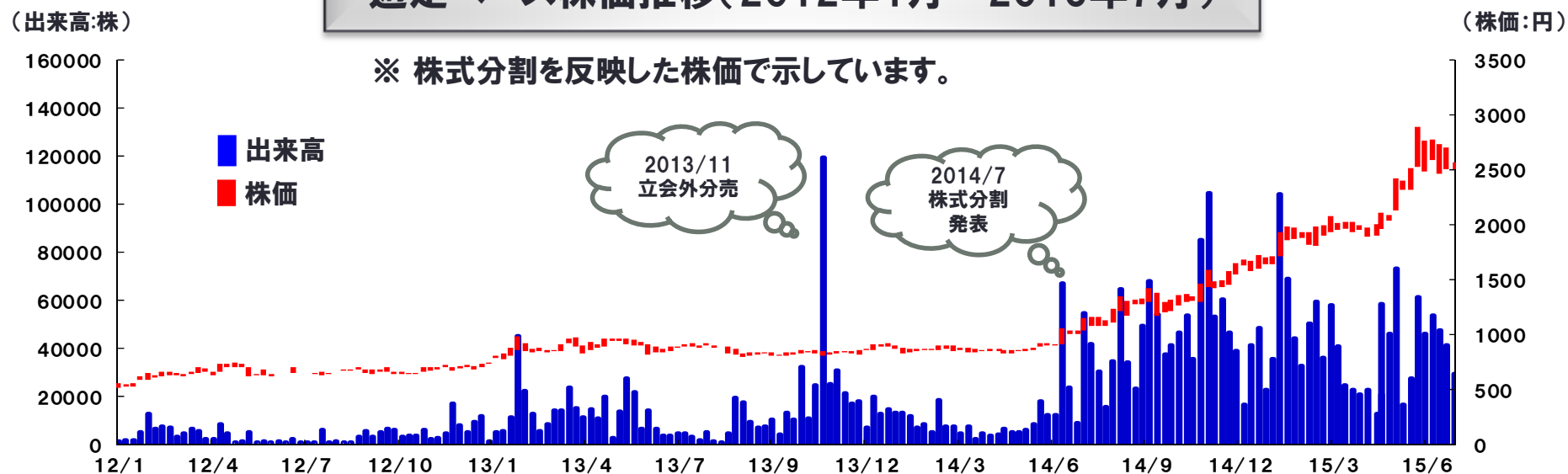
(百万円)

	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
売上高	4,977	5,781	5,997	6,418	7,402
経常利益	834	1,032	951	1,107	1,534
当期純利益	426	535	527	694	973
有利子負債額	0	0	0	0	0
純資産額	6,164	6,678	7,106	7,680	8,480
総資産額	7,143	7,906	8,297	9,075	10,339
自己資本比率	86.3%	84.5%	85.6%	84.6%	82.0%
設備投資額	274	1,051	1,001	469	612
減価償却費	440	471	563	534	474
1株当たり 配当金	12.5円	17.5円	19.5円	30円	40円
従業員数	206人	232人	281人	284人	281人

※ 2014年10月1日付実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移(2012年1月～2015年7月)



2014年10月1日に1株 ⇒ 2株の株式分割を実施

バリュエーション (2015年7月24日現在)

売買単位	: 100株	単元株価格	: 25万1,700円
時価総額	: 157億円	PER (16/3期予想)	: 14.31倍
ROE (15/3期実績)	: 12.0%	PBR (15/3期実績)	: 1.86倍

IR情報サイトのご案内



メニュー表示

「トップメッセージ」、「よくあるご質問」、「IRお問い合わせ先」
⇒メニュー名クリックで各ページに移動します

それ以外はメニューにカーソルを合わせると各メニューの
詳細ページ項目が表示されます
(項目クリックで該当ページに移動できます)

投資家の皆様へ

投資家の皆様に特にご覧頂きたいページをピックアップしています

IRニュース

適時開示情報や説明会のお知らせ、レポート更新など最新の
IR情報を掲載しています

「IRニュース一覧へ」をクリックすると、表示されていない過去の
IRニュースをご覧いただけます

メニュー項目

ワンクリックで各メニューの詳細ページに移動できます

URL: <http://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員管理部長
管理部IR担当

田島 寛
今関 弘毅 ・ 松尾 友紀子

TEL : 03-3763-5672
FAX : 03-3764-8225
E-mail : ir@ns-tool.com

将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。